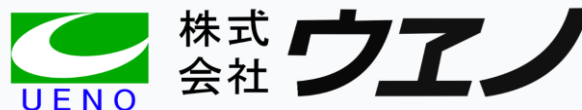


エコアクション21

環境経営レポート (Vol.16)

2024年7月～2025年6月 (45期)



長崎県長崎市目覚町5番1号

2025年10月1日

目 次

1	会 社 概 要	・ ・ ・ 1
2	環 境 経 営 方 針	・ ・ ・ 2
3	環 境 経 営 マ ネ ジ メ ン ト 組 織	・ ・ ・ 3
4	環境経営目標及び環境経営計画	・ ・ ・ 4
5	環境の負荷の実績	・ ・ ・ 6
6	環境活動の実績	・ ・ ・ 10
7	環境活動の取り組み実績への評価及び 次年度への取組み内容	・ ・ ・ 13
8	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ 16
9	代表者による評価と見直し	・ ・ ・ 17

1 会社概要

商号	株式会社 ウエノ
代表者名	代表取締役社長 上野 英剛
所在地	<p>■本社 (HP) http://www.ueno-corp.com/ 〒852-8105 長崎県長崎市目覚町5番1号 TEL 095-894-1022 FAX 095-894-1032</p> <p>■本社第2事務所 〒851-0121 長崎県長崎市宿町163番地6 TEL 095-832-0222 FAX 095-832-0221</p> <p>■諫早支店 〒854-0125 長崎県諫早市早見町1242番22 TEL 0957-28-0707 FAX 0957-28-0708</p> <p>■対馬支店 〒817-0323 長崎県対馬市美津島町大船越553番1 TEL 0920-54-4708 FAX 0920-54-5038</p> <p>■南九州支店 〒899-5652 鹿児島県始良市平松2616-1 TEL 0995-67-6311 FAX 0995-67-6312</p> <p>■佐世保営業所 〒859-3166 長崎県佐世保市木原町143番地4 TEL 0956-26-3655 FAX 0956-26-3656</p> <p>■福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1丁目12番5号 TEL 092-473-1539 FAX 092-473-1548</p>
連絡先	<p>環境管理責任者： 田中 隆宏 長崎県長崎市宿町163番地6 TEL 095-832-0222 FAX 095-832-0221 E-mail takahiro_t@ueno-corp.com</p>
対象範囲	全社・全組織 (認証番号 6692)
事業の内容	<p>■建設業／ 国土交通大臣許可 (特-7) 第19446号 (土木、とび・土工、石、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、塗装・水道施設・解体)</p> <p>■建設業／ 国土交通大臣許可 (さく井) (般-7) 第19446号</p> <p>■地質調査業／ 国土交通大臣 (質-05) 第2144号</p> <p>■測量業 / 国土交通大臣 登録第(5)-30171号</p> <p>■建設コンサルタント／ 国土交通大臣 建03第8648号</p>

事業規模	41期 (2020年度)	42期 (2021年度)	43期 (2022年度)	44期 (2023年度)	45期 (2024年度)
売上 (千円)	2,270,063	2,312,040	2,549,868	2,349,157	2,330,630
従業員数 (人)	83	82	85	89	88
述べ床面積 (㎡)	970	970	996	996	996

※年度(期)は、当該年7月1日より翌年6月30日

2 環境経営方針

1. 基本理念

当社は、人にとっての環境や安全の確保と自然にとっての”環境”とが両立するソリューションを見出すことが、未来へ残せるかけがえのない財産と信じ、日々進んでいきます。

2. 行動指針及び重点施策

当社は、『省資源』、『省エネ』、『節水』を事業活動における重要課題と掲げ、循環型社会形成への貢献に向けて、以下の重点施策を中心に環境保全活動に自主的・積極的に取り組みます。

- 1) 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- 2) 使用原材料の省資源及び廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)推進
- 3) 水資源の節水
- 4) 環境関連の法規、条例及びその他の規制事項の遵守
- 5) グリーン購入の推進、提供する製品及びサービスに関する環境の配慮
- 6) 地域ボランティア活動の推進、建設現場周辺の生物多様性保全の取組
- 7) 全員参加による環境保全活動の実行

これらの諸活動は、環境経営マネジメントシステムを確立し、目標及び実施計画を定め、実行し、定期的に見直しを行うことで継続的な改善に努めます。

環境への取組みを環境活動レポートとして取りまとめ、当社HPや地域や一般への閲覧を可能にして公表します。 (HP) <http://www.ueno-corp.com/>

平成22年 7月1日制定

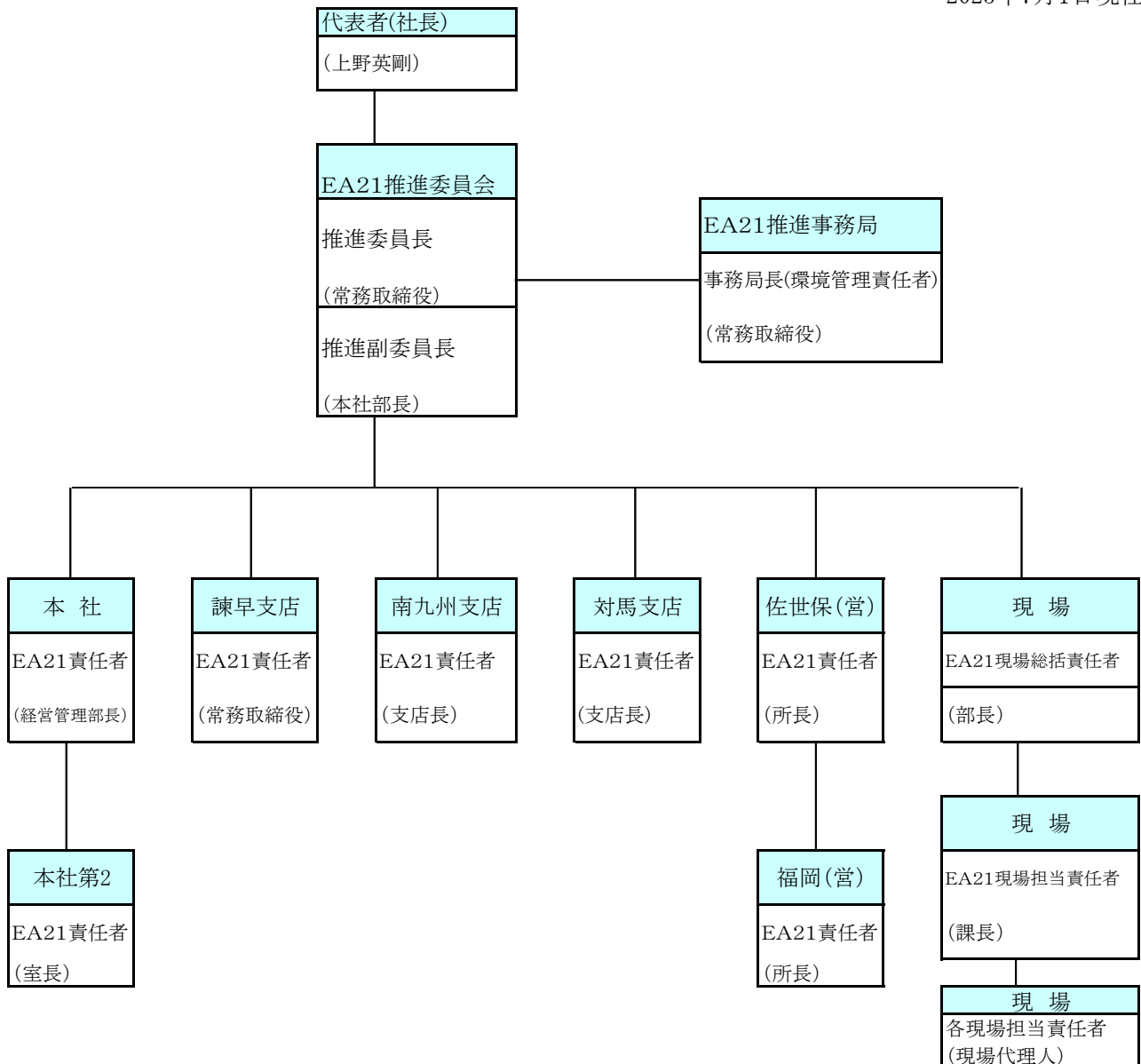
平成24年10月1日改訂

株式会社 ウエノ

代表取締役社長 上野 英剛

3 環境経営マネジメント組織

2025年7月1日現在



役割分担表 (役割・責任・権限)

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ①代表者として環境経営全般に責任と権限を持つ。 ②環境方針を制定し見直し、従業員に周知する。□ ③管理責任者、EA21事務局を任命する。□ ④EA21活動の為の資源(人・物・金)を準備する。□ ⑤EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを行う。
管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ①EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し実行し環境実績を向上させる。 ②毎年、環境目標、環境活動計画を作成する。 ③3カ月に1度、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する。□ ④上記の結果を代表者に報告する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ①管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。□ ②社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
工事・技術・事務部門	<ul style="list-style-type: none"> ①環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する。 ②環境目標達成の為、責任をもって自部門の環境活動を推進する。 ③自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 ④関連する法規制等を遵守する。 ⑤自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ⑥自部門の教育訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する。 ②決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

4 環境経営目標

(1) 中期目標

※期(年度)は、当該年7月1日より翌年6月30日

①省エネルギー活動

2021年度(42期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
電力	kWh	137,576	136,200	134,824	133,449
	kg-CO ₂	60,258	59,656	59,053	58,451
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

電力の二酸化炭素排出係数は、0.438(kg-CO₂/kWh)として算定しています。(2021年度九州電力)

②エコドライブ活動

2021年度(42期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
ガソリン	L	74,300	73,557	72,814	72,071
	kg-CO ₂	172,376	170,652	168,928	167,205
軽油	L	75,824	75,066	74,308	73,549
	kg-CO ₂	195,626	193,670	191,713	189,757
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

③節水活動

2021年度(42期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
水	m ³	1,460	1,445	1,431	1,416
	従業員当り(m ³ /人)	17.6	17.4	17.2	17.1
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

④産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

2021年度(42期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
産業廃棄物排出量	t	3,323	3,290	3,257	3,223
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

⑤地域ボランティア活動

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
地域ボランティア活動	回数	32	33	34	35

⑥グリーン購入及び製品サービスの提案

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
グリーン購入等の提案	回数	11	12	13	14

※42期(2021年度)が基準年

(2) 環境経営計画 (2024年度(44期)から2025年度(45期)の環境経営計画)

取組事項	環境活動計画内容
二酸化炭素排出量削減 ①省エネルギー活動(電力) ②車輛燃料費削減エコドライブ活動(ガソリン、軽油)	<p>【無駄な電力は使わない】</p> <p>①室内空調は夏季冷房は26～28℃、冬季暖房は20℃以下に設定する。 ②エアコン使用時、冷暖房効率を良くする為、ブラインドを閉め換気扇はつけない。 ③休憩時は照明を消し、未使用時のパソコンは電源をOFFにする。 ④トイレの換気扇は必要な時のみつける。</p> <p>【エコ運転の励行】</p> <p>①地図を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備する。 ②社用車の効率的な運転の推進 ③社用車及び建設車輛はアイドリングストップを励行する。 ④運転日誌には運転者だけでなく同乗者(お客様含む)の名前も記入し、乗車状況を把握できるようにする。 ⑤定期的な車輛の整備を実施する。 ⑥急発進・急ハンドル・急加速・急停車は厳禁。 ⑦車内を冷やしすぎない。暖めすぎない。 ⑧無駄な荷物を載せたまま走らない。 ⑨待ち合わせや荷物の積み下ろしの為の駐停車の際には、必ずアイドリングを止める。 ⑩乗り合いできないか打診する。 ⑪違法駐車は厳禁。(交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし、余分な排出ガスを出させる原因となる) ⑫建設機械の定期・日常の整備を十分に行い使用燃料の削減に努める。</p>
③節水活動	<p>【効率的な水の使用】</p> <p>①節水活動の呼びかけ、注意喚起を強化し、日々、節水を意識する。 ②蛇口はきちんと最後まで閉め、水が完全に止まっているか確認する。 ③トイレの水を流すのは原則として1回だけにする。 ④どんな場合も、水を流しっぱなしにしない。</p>
④廃棄物の削減	<p>【3R運動の促進】</p> <p>①3Rをひとりひとりが意識する。 ・Reduce (発生抑制：ごみを出さない) ・Reuse (再使用：使えるものは繰り返し使う) ・Recycle (再生利用：再使用できないものは再利用) ②ゴミの分別の徹底(分ければ資源の考え方を全員に浸透普及させる) ③鉄くず・銅線・ダンボール・新聞紙のリサイクル化に努める。(有価物) ④個人により発生したゴミは持ち帰りを原則とし一般ゴミとの分別を徹底する。</p>
⑥ボランティア活動	<p>【地域ボランティア活動等の推進】</p> <p>①地域のボランティア活動に進んで参加する。 ②各現場作業所でボランティアを行う。</p>
⑦グリーン購入及び製品サービスの提案	<p>【グリーン購入及び製品サービス提案の推進】</p> <p>①購入品は、再生用品を優先的に購入する。 ②工事において、顧客が要求する品質を満たし同等以上に取り扱われる再生製品等がある場合には、顧客に再生製品使用の提案を行う。 ③設計業務の提案で、優先的に再生製品、工法等も採用する。</p>

5 環境負荷の実績

(1) 環境の負荷の状況

■二酸化炭素排出量

環境負荷の内訳は次の通りです。

※期（年度）は、当該年7月1日より翌年6月30日

項目	単位	41期（2020年度）	42期（2021年度）	43期（2022年度）	44期（2023年度）	45期（2024年度）
電力	kWh	112,552	137,576	110,521	120,897	128,024
	kg-CO ₂	49,298	60,258	48,408	52,953	56,075
ガソリン	L	81,442	74,300	67,641	64,604	61,270
	kg-CO ₂	189,081	172,376	156,927	149,881	142,146
灯油	L	600	140	0	0	60
	kg-CO ₂	1,495	349	0	0	149
軽油	L	90,353	75,824	71,635	68,595	61,748
	kg-CO ₂	237,117	195,626	184,818	176,975	159,310
CO ₂ 排出量 合計	kg-CO ₂	476,991	428,609	390,154	379,809	357,680

: 各項目の基準年

■水、廃棄物の使用量

項目	単位	41期（2020年度）	42期（2021年度）	43期（2022年度）	44期（2023年度）	45期（2024年度）
水使用量	m ³	1,437	1,460	2,830	1,577	1,378
従業員あたり	m ³ /人	17.3	17.8	33.3	17.7	15.7
産業廃棄物排出量	t	4,746.6	3,323.0	12,181.0	12,297.9	1,733.3

■化学物質

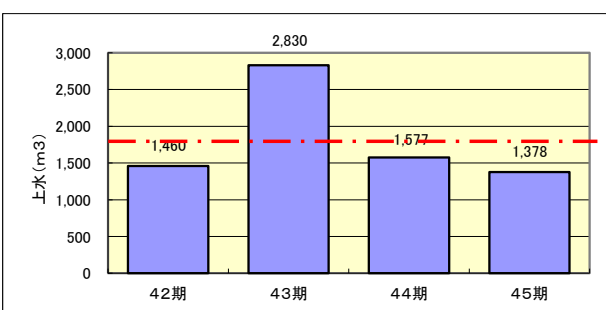
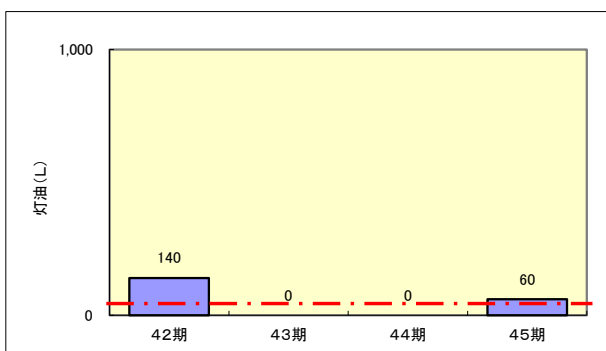
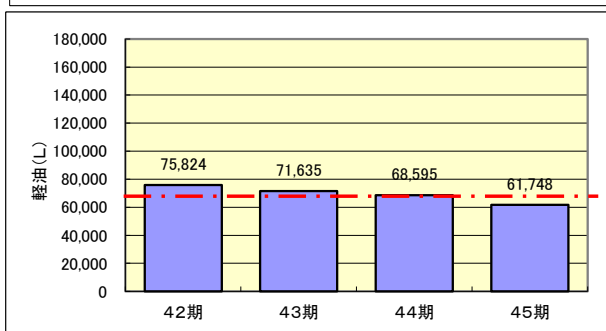
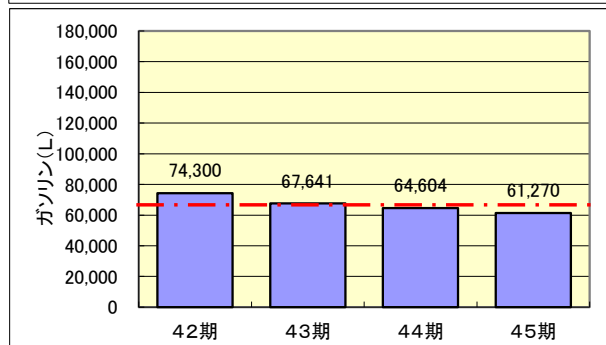
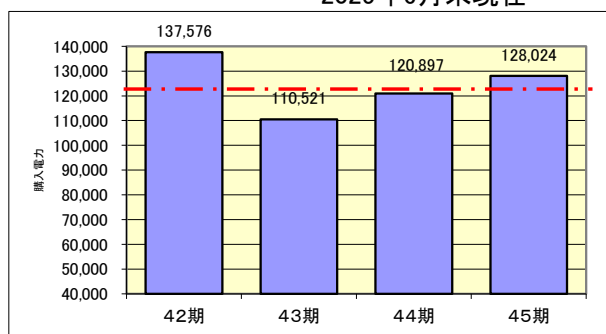
当社は化学物質（PRTR法対象）の使用はありません。

環境への事業負荷状況

2025年6月末現在

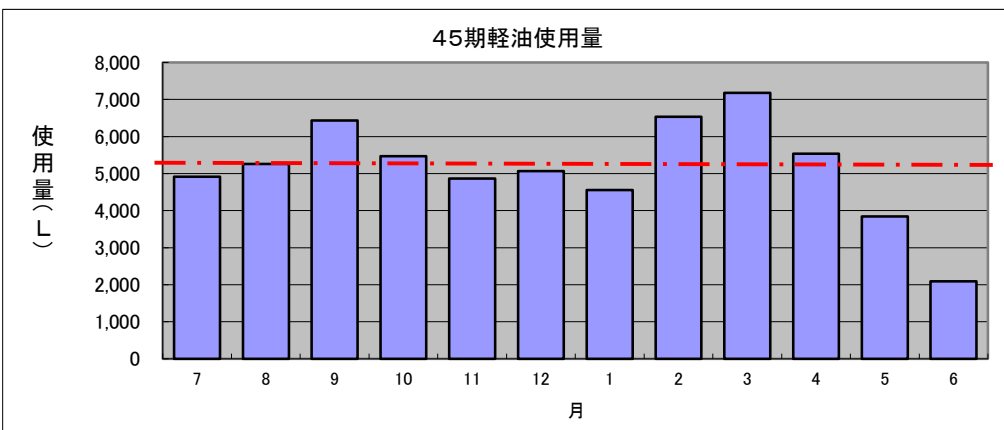
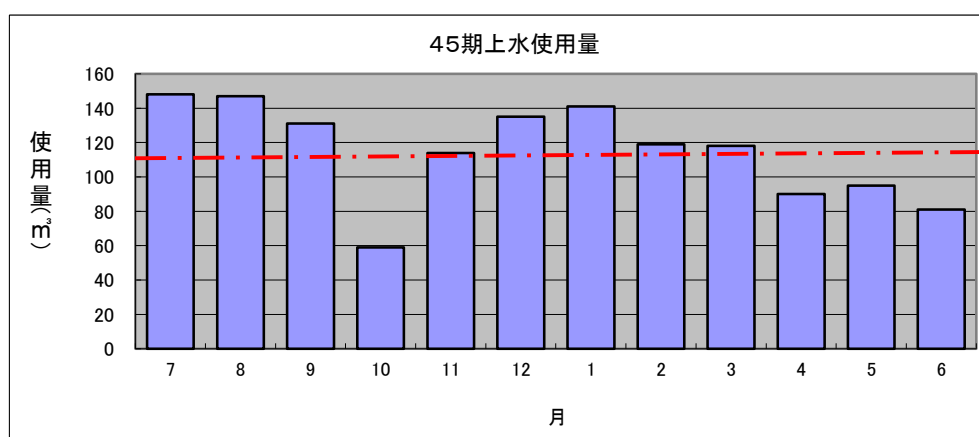
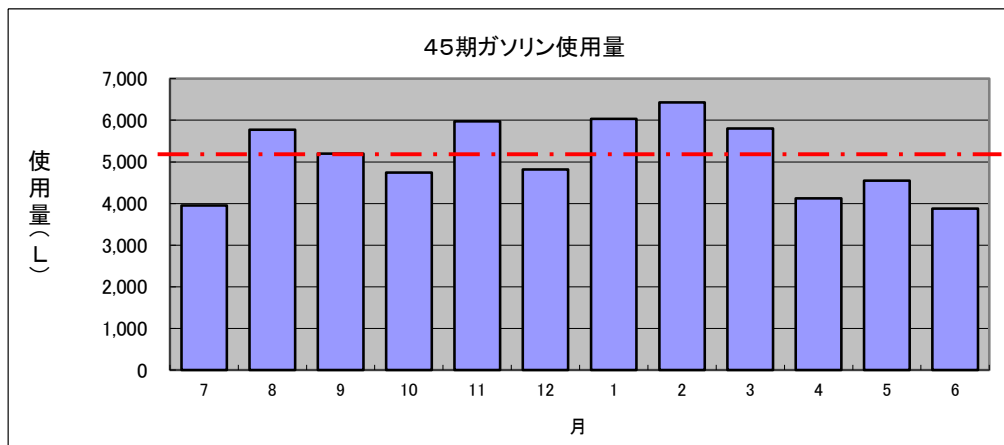
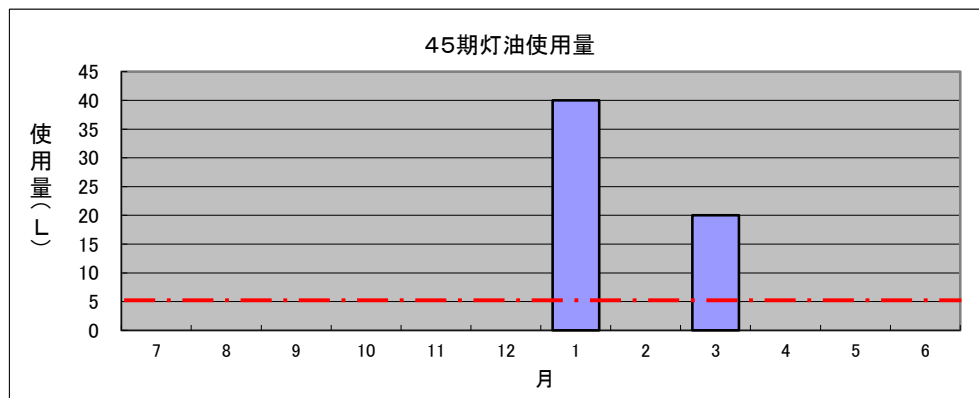
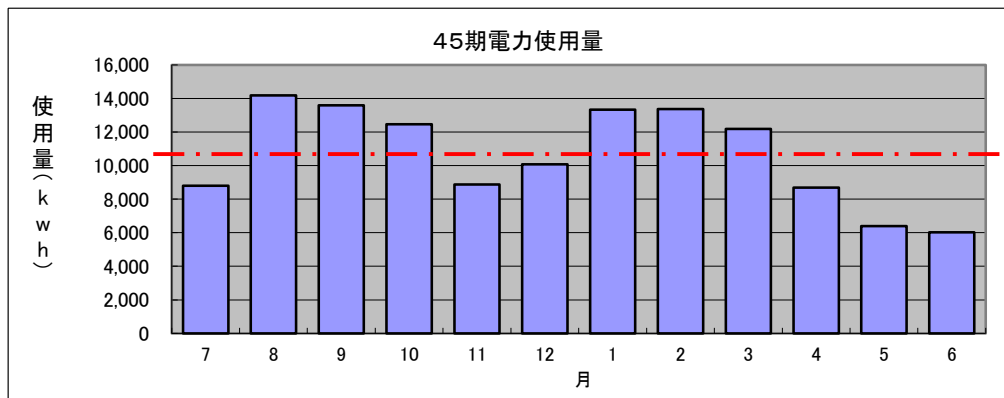
		41期	42期	43期	44期	45期
購入電力	本社	29,894	29,234	17,464	28,464	29,271
	諫早	45,754	71,999	60,550	61,206	62,904
	佐世保	15,869	15,892	14,230	14,198	17,496
	対馬	4,373	4,369	4,160	4,198	4,539
	南九州	15,546	15,059	14,117	12,831	13,814
	福岡	1,116	1,023	0	0	0
	合計	112,552	137,576	110,521	120,897	128,024
カーソリン・ハイオク	本社	0	0	0	0	0
	諫早	62,712	60,706	56,002	54,420	50,529
	佐世保	0	0	0	0	0
	対馬	4,869	4,659	4,398	3,950	4,715
	南九州	13,861	8,935	7,241	6,234	6,026
	福岡	0	0	0	0	0
	合計	81,442	74,300	67,641	64,604	61,270
軽油	本社	0	0	0	0	0
	諫早	46,619	45,678	42,175	50,458	46,236
	佐世保	0	0	0	0	0
	対馬	5,849	5,217	4,701	4,297	4,291
	南九州	37,885	24,929	24,759	13,840	11,221
	福岡	0	0	0	0	0
	合計	90,353	75,824	71,635	68,595	61,748
灯油	本社	0	0	0	0	0
	諫早	600	100	0	0	0
	佐世保	0	0	0	0	0
	対馬	0	0	0	0	0
	南九州	0	40	0	0	60
	福岡	0	0	0	0	0
	合計	600	140	0	0	60
上水	本社	184	180	183	191	442
	諫早	957	1,024	2,585	1,322	847
	佐世保	0	0	0	0	0
	対馬	18	17	10	10	10
	南九州	72	51	52	54	79
	福岡	206	188	0	0	0
	合計	1,437	1,460	2,830	1,577	1,378

: 基準年



環境負荷の項目別月別の状況

2025年6月末現在

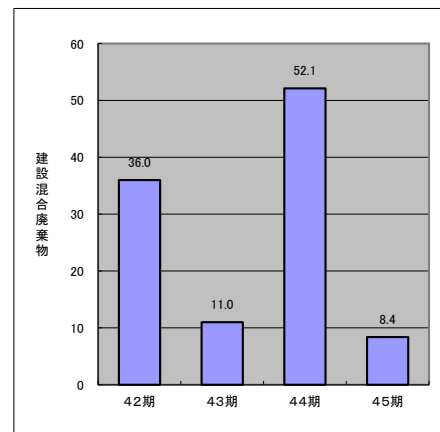
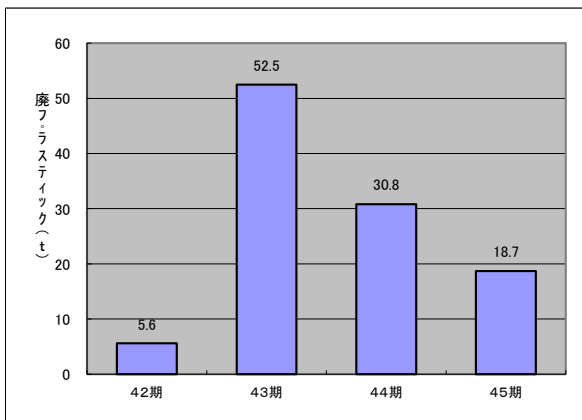
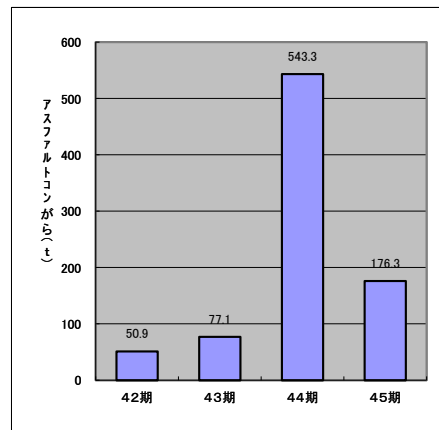
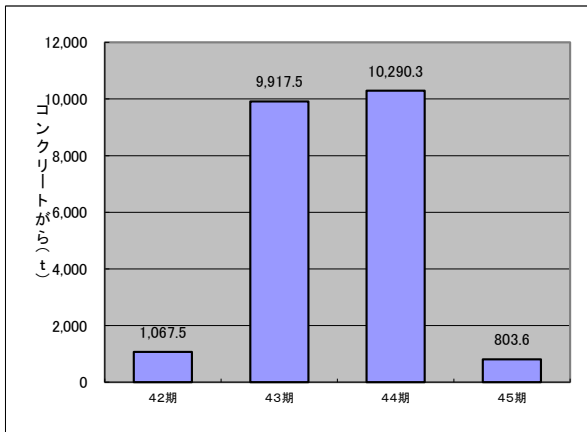
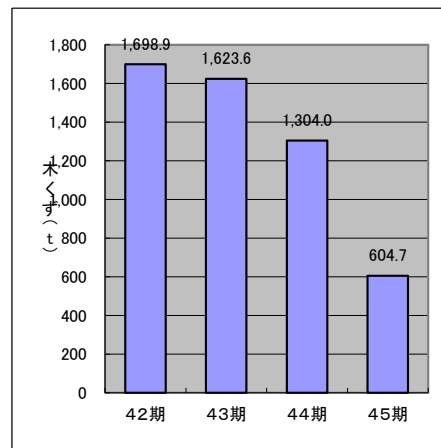
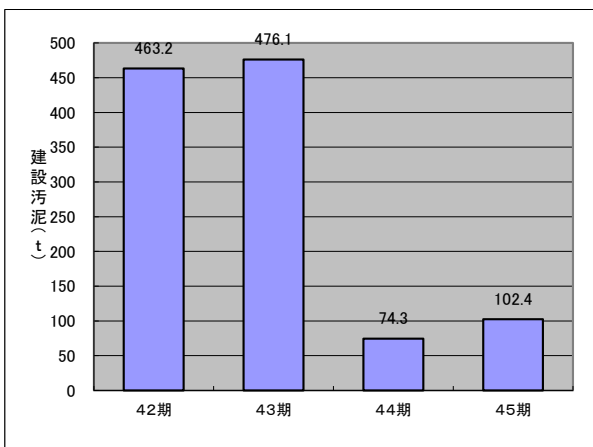
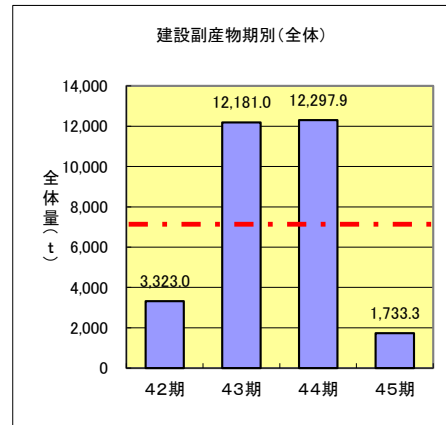


平均値 - - - - -

産業廃棄物排出状況(期別)

	単位	42期	43期	44期	45期
建設汚泥	t	463.2	476.1	74.3	102.4
木くず	t	1,698.9	1,623.6	1,304.0	604.7
コンクリートがら	t	1,067.5	9,917.5	10,290.3	803.6
アスファルトコンクリ	t	50.9	77.1	543.3	176.3
金属くず	t	0.9	23.2	3.1	19.2
廃プラスチック	t	5.6	52.5	30.8	18.7
建設混合廃棄物	t	36.0	11.0	52.1	8.4
合計	t	3,323.0	12,181.0	12,297.9	1,733.3

2025年6月末 現在



EA21(エコアクション21)活動実績(その1)

2024年9月30日現在

工種・区分・数量・単位	月別 日別	2024年7月			8月			9月			10月			11月			12月			2025年1月			2月												
		1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	29						
1社員への環境教育(月例会議、施工検討会議等)		■	■	■	■					■	■					■				■								■				■			
2多量排出事業者として2023年度産業廃棄物処理計画書提出(長崎市)										■	■																								
3取組状況の確認(負荷&取組の自己チェックリスト等)														■	■	■																			
4環境経営レポートVOL15の作成(社長打合せ含む)と公表														■	■	■																			
5古紙回収活動		■																																	
6構造機能適合型焼却炉での一般事業用ごみ焼却		■																																	
7月別事業負荷(ガソリン、軽油、灯油、電気、紙、上水)及び産業廃棄物量の把握		■																																	
8長崎市主催環境セミナー受講(1~3回)(環境管理責任者)																														■	■	■			
9長崎県主催産廃適正処理講習会(環境管理責任者)																														■					
10EA21審査申請書作成&提出																														■	■	■	■		
11EA21活動記録取りまとめ(社長説明含む)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
12EA21審査受審対応(書類&事業所)																														■	■	■	■		
13室外機点検		■										■																		■					
		備考																																	

EA21(エコアクション21)活動実績(その2)

2024年9月30日現在

工種・区分・数量・単位	月別 日別	3月					4月					5月					7月					8月					9月									
		1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	30	1	10	20	31	1	10	20	31	1	10	20	30							
1 社員への環境教育(月例会議、施工検討会議等)		■			■					■					■					■					■					■						
2 2024年度産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出							■																													
3 多量排出事業者として2024年度産業廃棄物処理計画書作成&提出(長崎県、長崎市)							■																													
4 多量排出事業者として2025年度産業廃棄物処理計画実施状況報告書作成&提出(長崎市)							■																													
5 古紙回収活動		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
6 構造機能適合型焼却炉での一般事業用ごみ焼却		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
7 地球温暖化防止推進員研修会																																				
8 環境経営マニュアル改訂版作成																																■				
9 室外機点検					■																															
		備 考																																		

7 環境活動の取り組み実績への評価・次年度の取組内容

7-1評価のコメント

- 45期（2024年度）の1年間を通じた各事業負荷の実績が算出されました。
その中で電力は目標に対して約+4.2%で目標達成出来ました。
電力の削減は日頃の節電に取り組む意識が日常化されていると考えています。
また作業環境の改善が進み、業務の効率化が出来る事も削減へつながっていると思います。
社員のエコに対する意欲も高く、活動自体は推進されていると考えています。
46期も継続し取り組んでいきます。また、協力業者への教育や周知・顧客へのアピールをしていくことも継続していきます。

- 目標に対してガソリンは+17.6%、軽油は+19.1%で目標達成になりました。
受注工事の種類にも影響されるのですが目標達成したことは評価していいと考えています。
取り組み活動が通常業務の一環として浸透していると感じています。
46期も、継続し努力を行っていきます。

- 目標に対して節水活動は+9.0%で目標達成です。
解体工事の受注がなく削減に繋がったと考えています。
節水活動自体は社内に浸透していますので今後も活動を継続していきます。
46期も元請受注が多くなると思われるので河川水や雨水の利用を促進して行きたいと考えています。

- 目標に対して産業廃棄物は+86.0%で目標達成です。
解体工事の受注がなかったため通常の産廃量になっています。
解体工事の受注が発生して大きな変動があると思います。
社内では分別や再利用等の活動は推進されているので評価できると思います。
46期は、45期同様に分別や再利用、梱包方法の工夫という活動を行っていきます。
引き続き、工法変更提案による産業廃棄物削減を増やしていきたいと考えています。

- 地域のボランティア活動は、目標達成しております。
44期は、40回実施し目標達成しました。
協力業者にも参加をして頂き周知も進んでいると考えております。
46期も積極的に活動していきます。
ボランティア活動は、10地区で年間4回以上を計画しています。

- グリーン購入及び製品サービスの提案は、目標達成です。
バイオ燃料等の使用、中和剤の使用等は通常活動として浸透しました。
工法変更等も提案を積極的に行っていく活動を充実させていきたいと考えています。
最近ではICT施工提案により施工の効率化を推進しています。
46期も、新しい有効な工法の情報収集を行い、提案を増やしていきたいと考えています。

7-2 次年度以降の中期目標

(1) 中期目標 ※期(年度)は、当該年7月1日より翌年6月30日

①省エネルギー活動

2024年度(45期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	45期(基準) 2024年度	46期(目標) 2025年度	47期(目標) 2026年度	48期(目標) 2027年度
電力	kWh	133,449	132,115	130,780	129,446
	kg-CO ₂	59,919	59,319	58,720	58,121
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

電力の二酸化炭素排出係数は、0.438(kg-CO₂/kWh)として算定しています。(2021年度九州電力)

②エコドライブ活動

2024年度(45期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	45期(基準) 2024年度	46期(目標) 2025年度	47期(目標) 2026年度	48期(目標) 2027年度
ガソリン	L	72,071	71,350	70,630	69,909
	kg-CO ₂	167,205	165,533	163,861	162,189
軽油	L	73,549	72,814	72,078	71,343
	kg-CO ₂	189,756	187,859	185,961	184,064
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

③節水活動

2024年度(45期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	45期(基準) 2024年度	46期(目標) 2025年度	47期(目標) 2026年度	48期(目標) 2027年度
水	m ³	1,416	1,402	1,388	1,374
	従業員当り(m ³ /人)	16.1	15.9	15.8	15.6
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

④産業廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

2024年度(45期)の実績を基準として3年間で3.0%の削減目標を設定します。

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
産業廃棄物排出量	t	3,223	3,191	3,159	3,126
		0.0%	-1.0%	-2.0%	-3.0%

⑤地域ボランティア活動

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
地域ボランティア活動	回数	35	36	37	38

⑥グリーン購入及び製品サービスの提案

項目	単位	42期(基準) 2021年度	43期(目標) 2022年度	44期(目標) 2023年度	45期(目標) 2024年度
グリーン購入等の提案	回数	14	15	16	17

7-2-1 次年度以降の中期目標環境経営計画

取組事項	環境活動計画内容
①省エネルギー活動 (電力) ②車輛燃料費削減 エコドライブ活動 (ガソリン、軽油)	<p>【無駄な電力は使わない】</p> <p>①室内空調は夏季冷房は26～28℃、冬季暖房は20℃以下に設定する。 ②エアコン使用時、冷暖房効率を良くする為、ブラインドを閉め換気扇はつけない。 ③休憩時は照明を消し、未使用時のパソコンは電源をOFFにする。 ④トイレの換気扇は必要な時のみつける。</p> <p>【エコ運転の励行】</p> <p>①地図を利用して、行き先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備する。 ②社用車の効率的な運転の推進 ③社用車及び建設車輛はアイドリングストップを励行する。 ④運転日誌には運転者だけでなく同乗者(お客様含む)の名前も記入し、乗車状況を把握できるようにする。 ⑤定期的な車輛の整備を実施する。 ⑥急発進・急ハンドル・急加速・急停車は厳禁。 ⑦車内を冷やしすぎない。暖めすぎない。 ⑧無駄な荷物を載せたまま走らない。 ⑨待ち合わせや荷物の積み下ろしの為の駐停車の際には、必ずアイドリングを止める。 ⑩乗り合いできないか打診する。 ⑪違法駐車は厳禁。(交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらし、余分な排出ガスを出させる原因となる) ⑫建設機械の定期・日常の整備を十分に行い使用燃料の削減に努める。</p>
③節水活動	<p>【効率的な水の使用】</p> <p>①節水活動の呼びかけ、注意喚起を強化し、日々、節水を意識する。 ②蛇口はきちんと最後まで閉め、水が完全に止まっているか確認する。 ③トイレの水を流すのは原則として1回だけにする。 ④どんな場合も、水を流しっぱなしにしない。</p>
④廃棄物の削減	<p>【3R運動の促進】</p> <p>①3Rをひとりひとりが意識する。 ・Reduce (発生抑制：ごみを出さない) ・Reuse (再使用：使えるものは繰り返し使う) ・Recycle (再生利用：再使用できないものは再利用) ②ゴミの分別の徹底(分ければ資源の考え方を全員に浸透普及させる) ③鉄くず・銅線・ダンボール・新聞紙のリサイクル化に努める。(有価物) ④個人により発生したゴミは持ち帰りを原則とし一般ゴミとの分別を徹底する。</p>
⑥ボランティア活動	<p>【地域ボランティア活動等の推進】</p> <p>①地域のボランティア活動に進んで参加する。 ②各現場作業所でボランティアを行う。</p>
⑦グリーン購入及び製品サービスの提案	<p>【グリーン購入及び製品サービス提案の推進】</p> <p>①購入品は、再生用品を優先的に購入する。 ②工事において、顧客が要求する品質を満たし同等以上に取り扱われる再生製品等がある場合には、顧客に再生製品使用の提案を行う。 ③設計業務の提案で、優先的に再生製品、工法等も採用する。</p>

8 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

1) 対象となる主な環境関連法等

法令リスト

法令の名称	法令等の遵守すべき内容	自社での取組	法令違反の有無	環境管理責任者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第 3条：事業者の責務 第12条：産業廃棄物処分委託管理表（マニフェスト）の交付・管理 産業廃棄物の保管基準 第16条：不法投棄、不法焼却の禁止	○	無	○
労働安全衛生法	第59条：健康の確保と快適職場環境の形成 則43, 44：健康診断	○	無	○
省エネルギー再生資源利用促進法	資源の使用の合理化、再生資源の利用の総合的推進を図るための方針を策定	○	無	○
長崎県環境基本条例	第 8条4項：環境への負荷の低減 第16条：資源の循環利用・廃棄物の減量	○	無	○
下水道法	法12の2、法46の2 排出口での排水基準違反等	○	無	○
建設工事公衆災害防止対策要綱（土木）	第74、建設工事に係わる排出の処理	○	無	○
特定特殊自動車排ガスの規制等に関する法律	オフロード建設車両の使用規制 2条1項、17条、18条	○	無	○
騒音規制法	2条3項(対象作業、作業の届出、騒音の基準)、14条低騒音型低振動型建設機械の指定に関する規程	○	無	○
振動規制法	2条3項(対象作業、作業の届出、騒音の基準)	○	無	○
フロン排出抑制法	法第16条：（点検・記録）	○	無	○

当社では工事着手時に長崎県の法規制リストの最新版により、遺漏がないように確認しかつ関係市町村の窓口に出向いて、適用区域の有無や提出の有無を確認するようにしています。

2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局による違反等の行政処分等は過去3年間において受けておりません。

2025年10月1日

環境管理責任者

田中 隆宏

9 代表者による評価と見直し

平成22年4月にE A 2 1への活動をキックオフ宣言して14年6ヶ月が、また平成23年2月に初回登録いたしまして14年8ヶ月が経過しました。実施状況を検討しました結果、下記の状況でありました。

環境経営システムは適切に構築され、また、取組が有効に機能していると思います。引き続き環境経営システムによる取組を継続して参ります。

45期は、解体工事の施工がなく産業廃棄物量が落ち着き目標達成となりました。今後、産業廃棄物の目標設定は留意が必要と考えています。前期に引き続き、社内業務では、チャットやクラウドを活用することにより社内書類の提出及び承認を円滑化させ、請求書確認・実行予算承認・注文書作成承認・安全品質等の回覧承認等の確認及び承認に加え、領収書清算や施工計画書の確認及び承認等もPCで処理出来きておりエネルギーの削減に効果が出ています。今期も社員の業務の簡素化による作業環境の充実、また移動時間の軽減ができたと思います。

46期も、電子決済の範囲拡大、ソフトの充実をはかり作業環境を良くしていきます。そうすることで、さらなる交通量の削減につながると考えています。また、当社にかかわりある企業にE A 2 1活動に賛同してもらえるように活動してまいります。

2025年10月1日 代表取締役 上野 英剛